

# まちの話題

The topic of the town



## 地域に根差した スポーツクラブ設立

2月24日、串間スポーツクラブの設立総会と記念式典が中村荘にて行われました。2年前から設立のための準備が進められ、平成23年度から本格的に活動を開始します。

総会では、キッズ・サッカーやフライング・ディスクなど今年度の事業について計画が提案され、今後種目を増やしていくことも目標として取り上げられました。

代表の金川敏洋さんはあいさつの中で、「地域の世代間交流や青少年の健全育成などを目標に、地域に根差したスポーツクラブを目指します」と話していました。



## 循環型経営への熱意が 表彰されました

平成22年度「中小企業組織活動懸賞レポート」本賞を、寿海酒造株式会社代表取締役社長の国府光朗さんが受賞し3月7日、寿海酒蔵にて賞状が手渡されました。

レポートでは焼酎生産で生じる蒸留かすを肉牛のエサとしていたり、牛の排泄物から作った堆肥で育てた赤芋を焼酎の原料にするエコ循環型経営を構築していくことなどが記述されています。国府さんは「問題があっても、前向きにやればできるという信念を持ってきました。完全なエコ循環型経営の構築を目指していきたい」と話していました。



## 串間唯一の福島高校 存続に向け結束

3月3日、中央公民館にて福島高校を育てる市民の会の設立総会が行われました。

串間市唯一の県立高校である福島高校の存続のため、市役所、PTAやJ.A、漁協など31団体が参加。連携して高校存続のための活動を行っていくことを誓いました。福島高校の有枝定幸校長は「現在、市内からの入学者は全体の5割。存続のためには市内から7割の入学が必要です。進学、就職両方に対応できる体制を整え、充実した教育を受けることができます。ぜひ福島高校へ入学してください」と思いを伝えました。



## 釣りを通じて、新しい串 間の魅力を創出します

3月6日、福島新港にて、新！海物語くしま「チヌ・アジ釣り大会」が開催されました。

この大会はにぎわい創出事業の補助を受けて、串間青年会議所が主催。大会には市内外から約200人が参加しました。チヌ・アジ釣りの競技のほか、チヌ釣り名人の遠矢国利さんによる釣り指南が行われました。また大会終了後、自然保護の大切さを知ってもらうことを目的に、全員で港内の清掃を行いました。実行委員の吉田和洋さんは「想像以上の反響がありました。来年もぜひ開催したい」と感想を話していました。



## 自衛隊新入隊者へ贈る 激励の言葉

3月2日、市役所で、自衛隊新入隊者激励会が開催されました。激励会では、野辺市長が「自衛隊は国を守るという役割のほか、災害時に国民生活を守る重要な仕事です。皆さん頑張ってください」と話し、新入隊者13人を激励。また自衛隊宮崎地方協力本部の林英治本部長からは「戸惑うこともあると思いますが、習うより慣れろの精神で頑張ってください」とのあいさつがありました。その後、新入隊者代表の小柳伊吹さんが「立派な社会人、立派な自衛官となることを誓い、日々努力していきます」と謝辞を述べました。



## 地震被災者救援のため 消防隊員が被災地へ

3月21日、東北地方太平洋沖地震の被災地へ宮崎県から派遣された緊急消防援助隊員が帰還しました。串間市からは上釜明彦隊長、松山尚人隊長、鈴木友也隊員の3人からなる救急隊1隊と高規格救急車1台が参加。18、19日の2日間、けが人などの救助活動に従事しました。上釜隊長は「現地はがれきに埋め尽くされ、何も見分けがつかない状態でした。少しでも役に立ちたいとの思いから、全力で救助に取り組みました。活動中、被災者の皆さんから温かい感謝の言葉をいただいたことが心に残っています」と話していました。



## アメリカで新しい畜産 について学びます

3月17日、海外派遣農業研修生に選ばれた野川慶介さんが研修に先立ち野辺市長を訪問しました。野川さんは11月に農業研修生海外派遣事業研修生の試験に合格。3月24日、3人の研修生と共にアメリカへ出発しました。約13カ月の期間中、農場実習や大学での専門学習などを通じ、肉牛の飼育方法や経営について学びます。野川さんは「農業大学校での先生から紹介を受け興味を持ち、応募しました。アメリカで新しい知識と経験を取得し、帰国後、少しでも地域に貢献できるようにしたいです」と抱負を話していました。

